

2025. 4. 24

「誰も殺すな」などと訴える
参加者 22日、東京都渋谷区



ガザ・ウクライナ・ミャンマー

多様な宗教者 平和求め行動

東京・渋谷

宗派を超えた宗教者らが22日、東京都の渋谷駅ハチ公前広場でパレスチナやウクライナ、国軍と民主派組織の内戦と地震被害が続くミャンマーの市民の命を救うために祈り、声を上げました。

ほぼ毎月行う行動は今日で32回目。「平和をつくり出す宗教者ネット」などが呼びかけました。

プロテスタントの女性
は、イエス・キリストの言

葉「剣を取るものは剣で滅びる」を示し、「命を大事にする」という精神は宗教に共通している」とマイクで訴えました。各地で戦争が続くなか日本が軍拡することは、戦争に巻き込まれることにつながると指摘。

「私は宗教の違いを超えて行動します。戦争の準備ではなく平和の準備をしましょう」と呼びかけました。

参加者は「誰も殺すな」「ガザ、恒久停戦を実現してください」などとコー

ル。歌を歌ったり、南無妙法蓮華經と唱えたりしました。

スマホで撮影しながら真剣に耳を傾けていたのは、インドネシアから夫とともに旅行中だというタマヤンティさん（28）。「私にはSNSに投稿することしかできないことが悲しい。日本の若者には、もっと関心を持ってほしい。これはパレスチナやミャンマーだけでなく、人間性の問題だから」と話しました。